



オオヨシキリ 学名 *Acrocephalus orientalis*
スズメ目ヨシキリ科。ヨシ原で巣をつくり子育てする夏鳥。オスは少し高い木などで大声でさえずる。

※イベントの予定は、諸事情により変更になる場合があります。上記の QR コードから行事案内をお確かめの上、ご来館ください。

■ 土曜日は、あいねすとの自然散策会

※ベビーカーや車いすの方も参加できます。

あいねすとの前を流れる丸浜川沿いの道を、生きものを観察しながらゆったり散策します。

鳥だけでなく、植物、昆虫、カニやトカゲ、キノコなどを観察します。見る、聞く、かぐ、触れるなど五感を使って自然の不思議を発見しましょう。歩きやすい靴、帽子、水筒は必ずご用意ください。あいねすと周辺に飲料の自動販売機はありません。

時 間 7月、9月は、午後3時30分から
1時間程度

受付開始 開始時間の30分前から
各日先着10名 双眼鏡貸出あり

□□ 夏のイベント 予定 □□

■ 虫を捕まえて観察しよう

7月19日(土) 午後3時~4時30分

(要申込)

あいねすと近辺で、虫を探して捕まえ、観察します。観察後は虫たちは元の場所へ帰します(持ち帰れません)。電話・来館で7月5日(土)午前9時より事前申込。先着順15名、雨天中止。

■ 早起き自然観察会

8月16日(土) 8時~9時(要申込)

暑い季節、朝の少し涼しい時間に、生きものなどの観察をします。どんな生きものが、どれぐらいいるかな? 電話・来館で8月2日(土)午前9時より事前申込。先着順15名、雨天中止。

■ 動物愛護週間の塗り絵

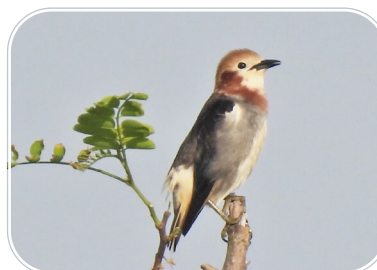
9月20日(土)~28日(日)

ペットの適正飼育と野鳥の保護をテーマにした塗り絵を配布します。今年は大人の方もチャレンジしていただけるものを作成予定。完成作品は、館内で展示させていただきます。



公式 Web サイト
あいねすと行事案内

7月 5日、12日(午後3時30分より)
8月 休止します
9月 20日、27日(午後3時30分より)
(雨天時は中止)



コムクドリ

夏から秋に行徳近郊緑地を通過する旅鳥です。みどりの国入り口近辺でよく見られます

■ あいねすとから見られる夏から秋の鳥

初夏は鳥たちの繁殖シーズンです。ヨシ原からは、巣をつくったオオヨシキリとセッカの大きなさえずりが聞こえます。丸浜川沿いでは、シジュウカラやコゲラ、ヒヨドリ、ムクドリなどの幼鳥を連れた家族がにぎやかです。盛夏から初秋にはコムクドリの群れが立ち寄っていきます。秋の風が吹くころには、早くも冬鳥のカモたちや、猛禽類が姿を見せます。



コゲラの幼鳥。親やきょうだいとともに林の中で過ごす。



セッカ。ヨシ原で繁殖する小さな鳥、上昇時に♪ヒツヒツ♪下降時に♪チャチャツ♪と鳴く。



ミサゴ。9月ごろに保護区の海に姿を見ることが多い。

あいねすとから見られる夏から秋の鳥

カルガモ	コゲラ
コガモ	モズ
キジバト	オナガ
イソシギ	ハシボソガラス
カワウ	ハシブトガラス
アオサギ	シジュウカラ
ダイサギ	ツバメ
チュウサギ	ヒヨドリ
コサギ	メジロ
ミサゴ	オオヨシキリ
オオタカ	セッカ
トビ	ムクドリ
サシバ	コムクドリ
ノスリ	スズメ
カワセミ	ほか

(鳥名は日本鳥類目録順)

■ あいねすと周辺の花と草木 キカラスウリ (黄烏瓜)



花弁の先が糸のように細い、不思議な花です。秋には大人のこぶし大の黄色いラグビーボール型の実をツルの先にぶら下げ、鳥たちが好んでついでみまします。オレンジ色で俵型の実をつけるカラスウリとは別の種類です。根にはデンプンを蓄え、生薬や、天花粉(ベビーパウダー)の材料として使われました。

■生きものや自然に関する本がぎゅっと詰まった本棚

2階観察スペース横の小さな本棚には、話題の鳥の本、子ども向けの絵本、使いやすい図鑑や、市川の自然情報



など、厳選された本を置いています。館内のみですが、ぜひお手に取ってご覧ください。



■ あいねすとカフェ

営業時間 午前9時～午後4時45分

木漏れ日さす遊歩道を歩いたら、涼しい館内でクールダウン。冷たい飲みものやジェラートもあります。

※中2階と2階では、飲みもののみとさせていただきます。また、食べ物の持ち込みはご遠慮ください。



■ あいねすへのアクセス

最寄り駅は、東京メトロ東西線の行徳駅または南行徳駅です。駅からは徒歩またはバスをご利用いただけます。また、JR本八幡駅南口からもバスが出ています。車でお越しの際は無料駐車場がございますが、収容台数が少ないので公共交通機関のご利用をお願いいたします。



あいねすとの詳しい情報は
右のQRコードからご覧いただけます。

